

パートナーとの共通性が 親密性に及ぼす影響

千葉商科大学 政策情報学部 柴温太
指導教員 赤木 茅, 江草遼平

※本研究は「千葉商科大学・数理データサイエンス教育プログラム」における「特別講義(データサイエンス)」の一環として実施されている

背景

- 共通性が恋愛の親密性に関連している
 - Actelli et al.(1993) は,アメリカの新婚カップルに対して共通性が親密性に関連していると示している
 - 清水&大坊(2007)は,多様な活動や話題の共有が関係安定性に関連している

→現代の日本の大学生の恋愛に関する研究ではない

- 共通性には様々な側面がある
 - 趣味同類性は 出会いの場面において影響がある(高野,2023)
 - 服装の共通性 は親密性に関係がない(橋本,2002)

→どの共通性が恋愛における親密性にどれほど影響しているか明らかでない

目的

恋愛関係におけるパートナー間の共通性がパートナーとの親密度に与える影響を検証する（大学生カップルを対象）

データ

- 質問紙調査はWebアンケートフォームを用いて作成し回収.
- 質問項目:
 - 回答者の属性に関する5項目
 - 共通性に関する23項目
 - 親密性に関する4項目
- 対象:私立文系大学の学生 110人
- 実施期間: 2024/12/16-2024/12/23
- 有効回答数:44人(恋人が過去 にいたことがある,または現在いると回答した人数)

回答者本人の属性に関する質問項目

回答者本人 の属性に関 する質問	Q1	あなたに恋人はいるでしょうか（回答項目に 過去にいた,を含む）
------------------------	----	------------------------------------

共通性に関する質問項目

生活,性格,属性,嗜好について

属性 共通性	Q3	あなたと恋人で第一言語は共通していますか？ (言語類似性, language_similarity)
属性 共通性	Q4	あなたと恋人で年齢に差はありますか？自分を基準として数値で回答してください。 (年齢差, age_similarity)
性格 共通性	Q5	あなたと恋人で他の人に対して同じくらい外交的でしたか？（お互いのことは除く） (外交的か, extroversion_similarity)
嗜好 共通性	Q6	あなたと恋人で趣味の傾向は似ていると思いますか？ (趣味の傾向, hobby_similarity)
性格 共通性	Q7	あなたと恋人で恋愛の優先度は共通していると思いますか？ (恋愛優先度, priority_similarity)
性格 共通性	Q8	あなたと恋人で必要とする一人の時間は共通していましたか？ (一人の時間, time_similarity)

生活 共通性	Q9	あなたと恋人で金銭感覚は共通していると思いますか？ (金銭感覚, money_similarity)
嗜好 共通性	Q10	あなたと恋人でファッションの好みは共通していると思いますか？ (服の好み, fashion_similarity)
生活 共通性	Q11	あなたと恋人で生活習慣は共通していると思いますか？ (生活習慣, lifestyle_similarity)
嗜好 共通性	Q12	あなたと恋人で話したい会話の内容は共通していると思いますか？ (会話内容, content_similarity)
属性 共通性	Q13	あなたと恋人で学歴は似ていると思いますか？ (学歴, education_similarity)
生活 共通性	Q14	あなたと恋人で仕事・アルバイトや職業選択についての好みは似ていると思いますか？ (職業選択, career_similarity)

関係満足度及び関係重要度に関する質問項目

関係 満足度	Q15	あなたは恋人との関係にどの程度満足していますか？ または,当時満足していましたか？ (満足度,relationship_satisfaction)
関係 満足度	Q16	恋人はあなたの望むこと（要求）をどの程度満たしてくれていると思いますか？ または,当時満たしてくれていたと思いましたか？ (欲求充足, needs_fulfillment)
関係 重要度	Q17	あなたはその人との関係をどの程度重要視（大切に）していますか？ または当時していましたか？ (重要度, relationship_importance)
関係 重要度	Q18	あなたは現在のその人との関係をどの程度持続 してほしいと思いますか？ または当時思っていましたか？ (持続願望, hope_continuation)

分析手法

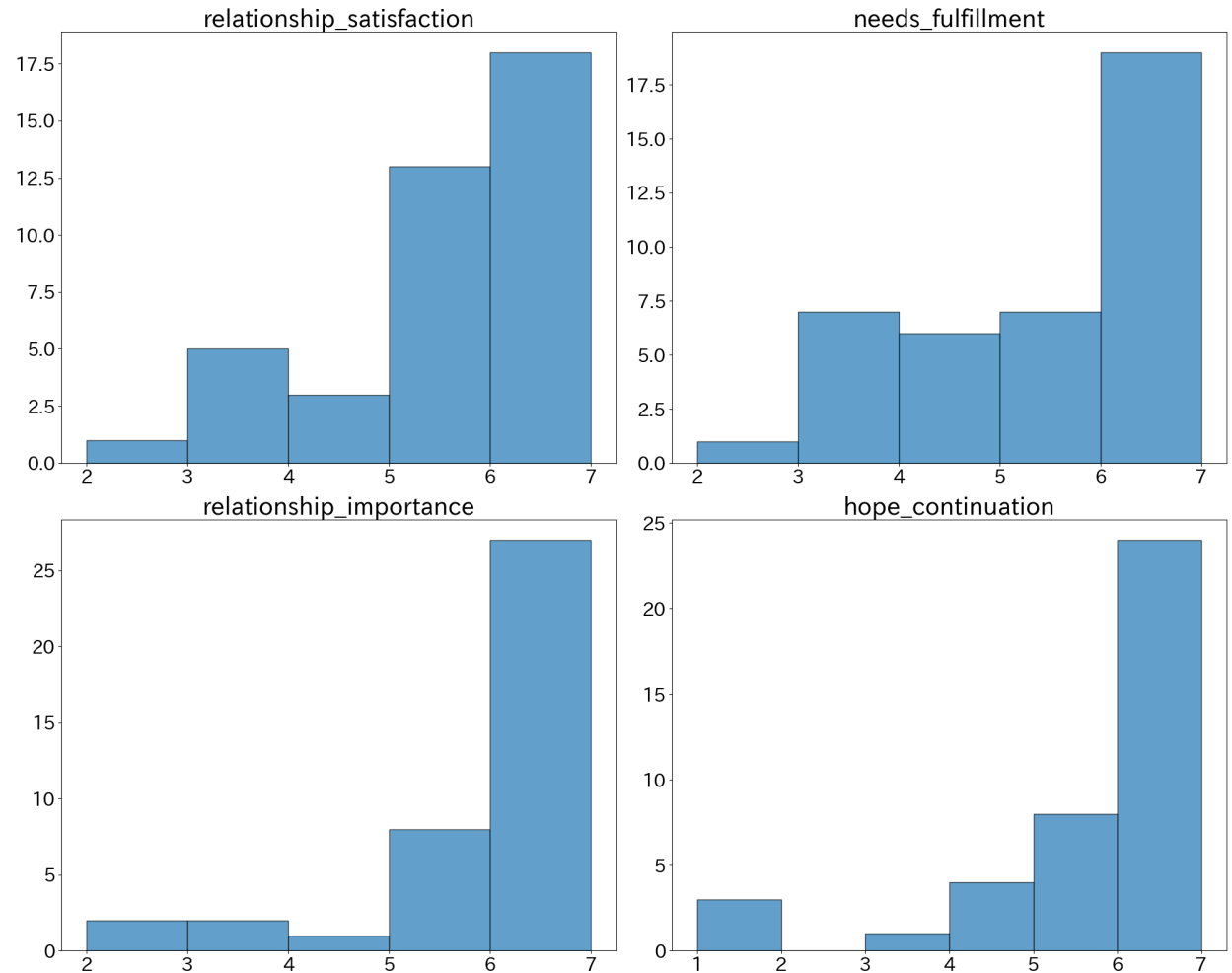
• 分析の目的

- 恋愛親密度に対するパートナーとの共通性の影響を明らかにするために相関分析と共分散構造分析を使用
- 相関分析:それぞれの観測項目に相関があるかを検証
- 共分散構造分析:それぞれの変数の因果関係をモデル化して検証

結果

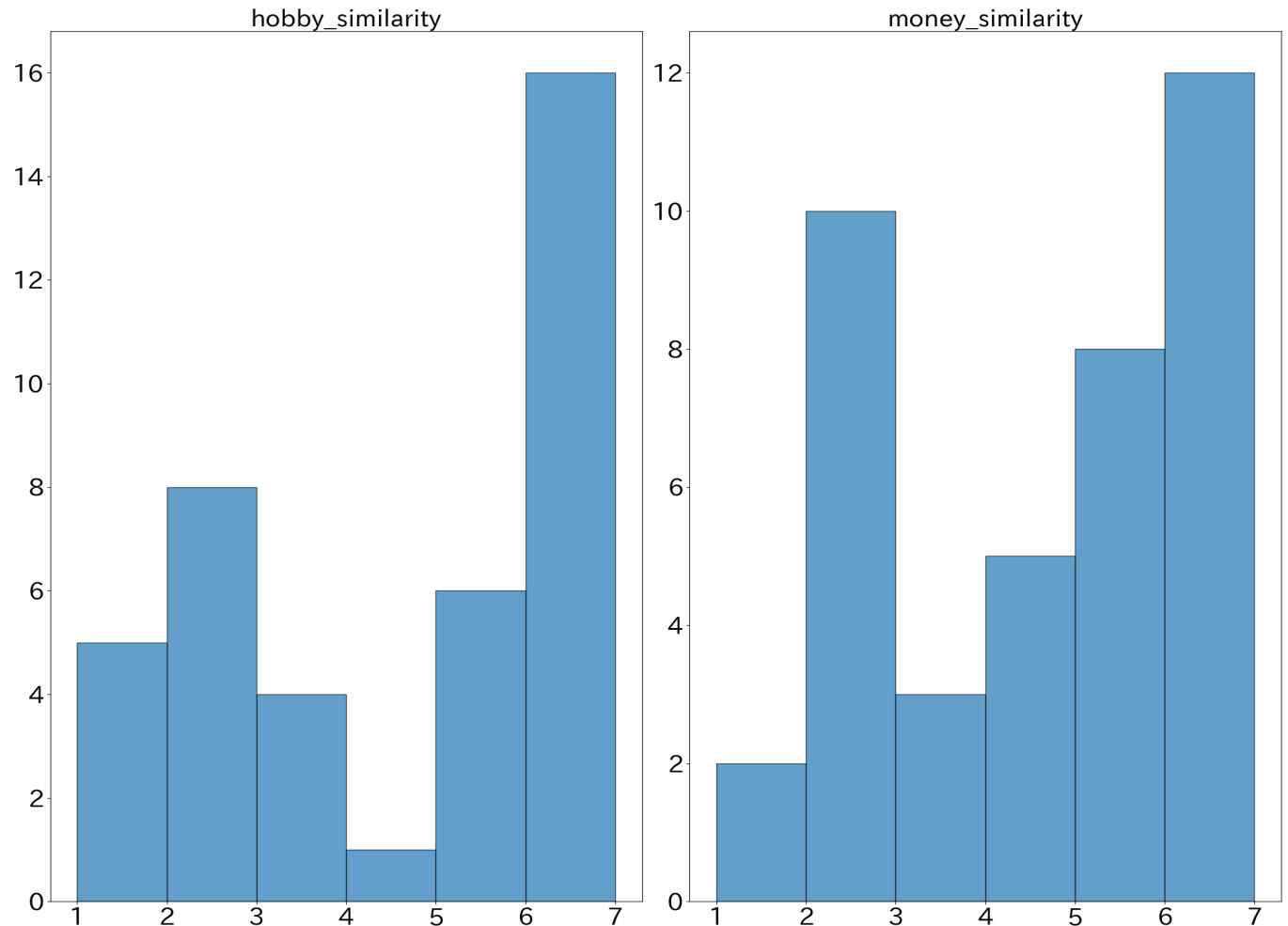
関係満足度と 関係重要度

- ほとんどが最も高い7を最頻値とする左に歪んだグラフである



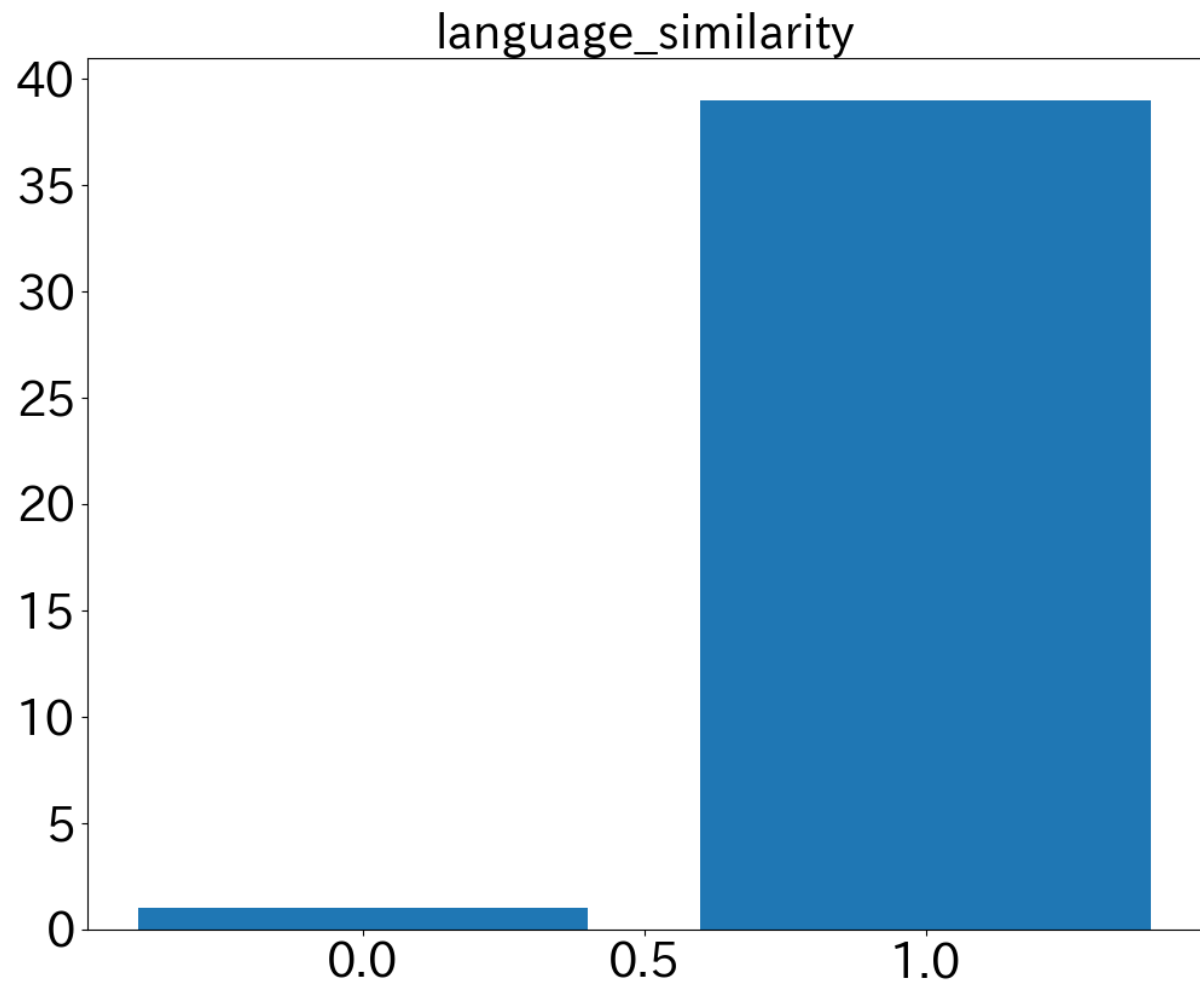
趣味と 金銭感覚

- ばらつきが見られた
→今回の対象において、
趣味や金銭感覚に関する
恋人との共通性に支配的
な傾向はみられなかった

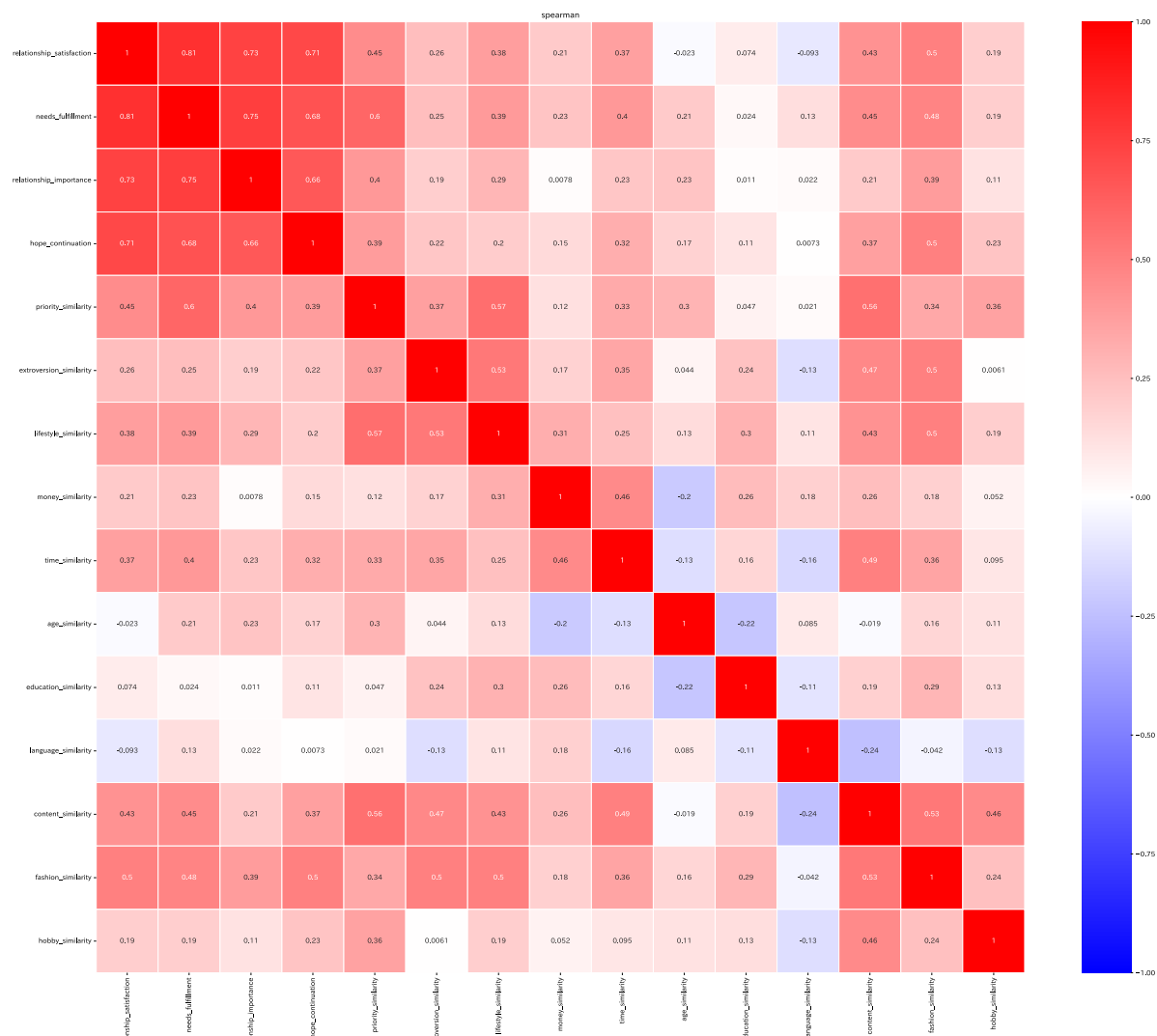


言語の共通性

- 第一言語について共通していないと回答したのは1件のみ



ヒートマップ



関係満足度と 関係重要度

- 恋愛親密性(正の相関あり)
→恋愛におけるパートナーとの
関係で満足していればその
関係を重要視していることが
示唆された。

relationship_satisfaction	1	0.81	0.73	0.71
needs_fulfillment	0.81	1	0.75	0.68
relationship_importance	0.73	0.75	1	0.66
hope_continuation	0.71	0.68	0.66	1

親密性と 共通性に関する尺度

- 恋愛優先度と服の好みに一定の正の相関あり

→服の好みが親密度に影響を持たないとする橋本(2002)の主張とは一部違った結果になった。

relationship_satisfaction	0.45	-0.093	0.43	0.5	0.19
needs_fulfillment	0.6	0.13	0.45	0.48	0.19
relationship_importance	0.4	0.022	0.21	0.39	0.11
hope_continuation	0.39	0.0073	0.37	0.5	0.23
	priority_similarity			fashion_similarity	

属性と嗜好に関する尺度

- 属性共通性と嗜好共通性の観測項目間には相関がなかった

age_similarity	-0.019	0.16	0.11
education_similarity	0.19	0.29	0.13
language_similarity	-0.24	-0.042	-0.13
	content_similarity	fashion_similarity	hobby_similarity

嗜好共通性に関する尺度

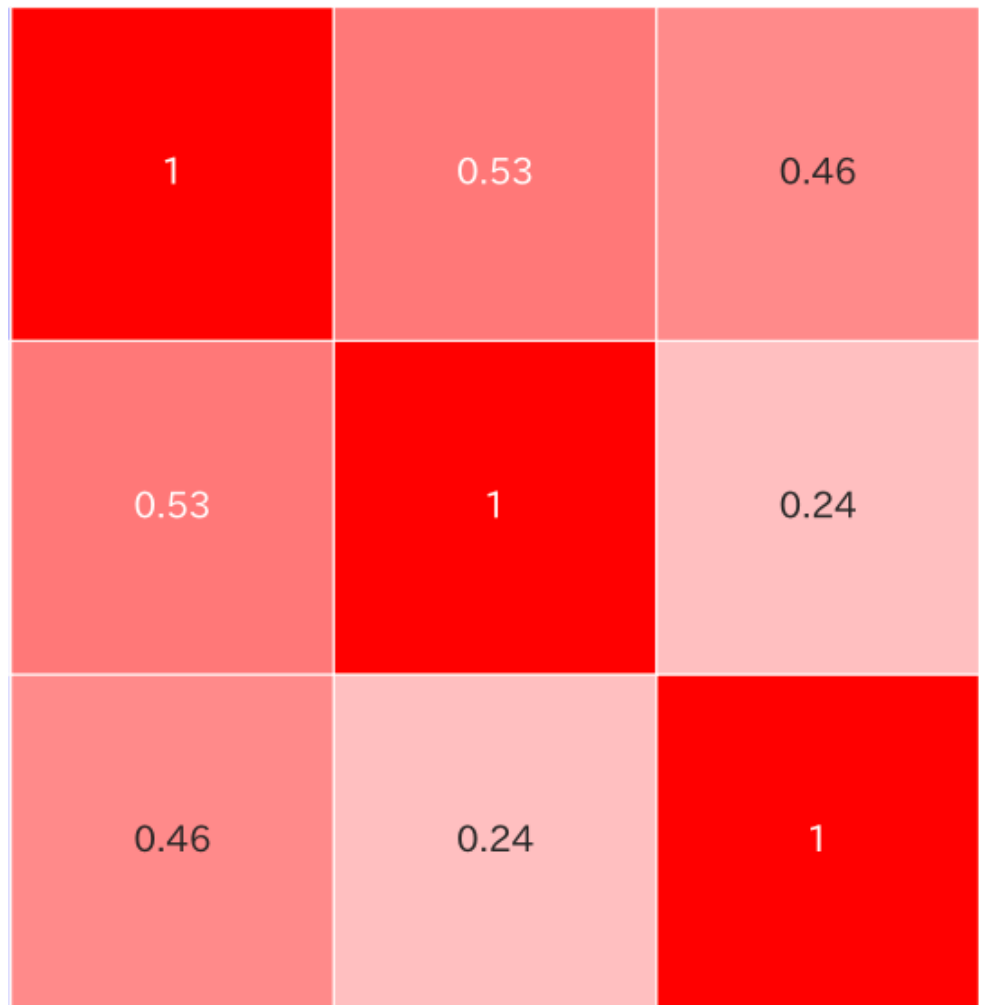
- 一定の正の相関あり

→これらの質問項目に対する回答は一定の類似性が認められ共通の潜在因子を構成する尺度として利用可能であることが示唆される。

content_similarity

fashion_similarity

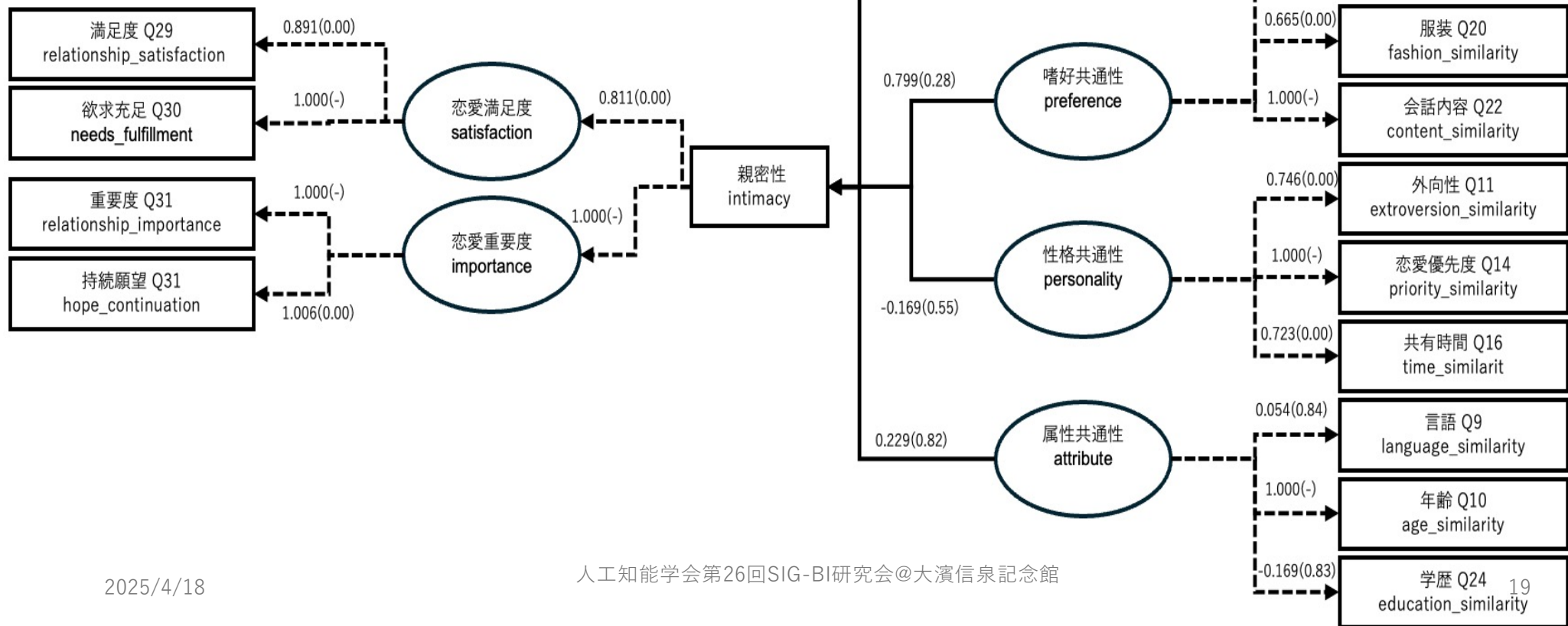
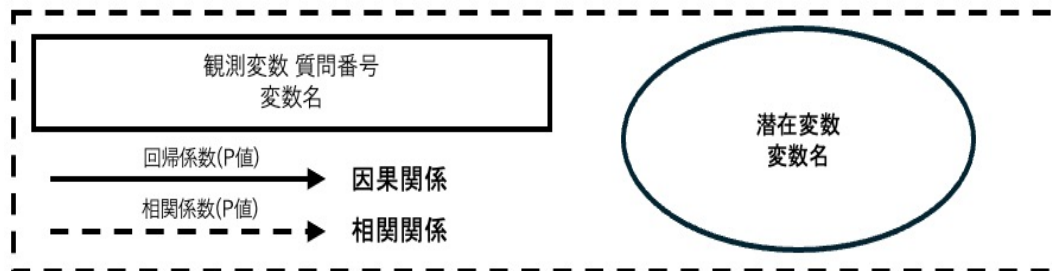
hobby_similarity



結果

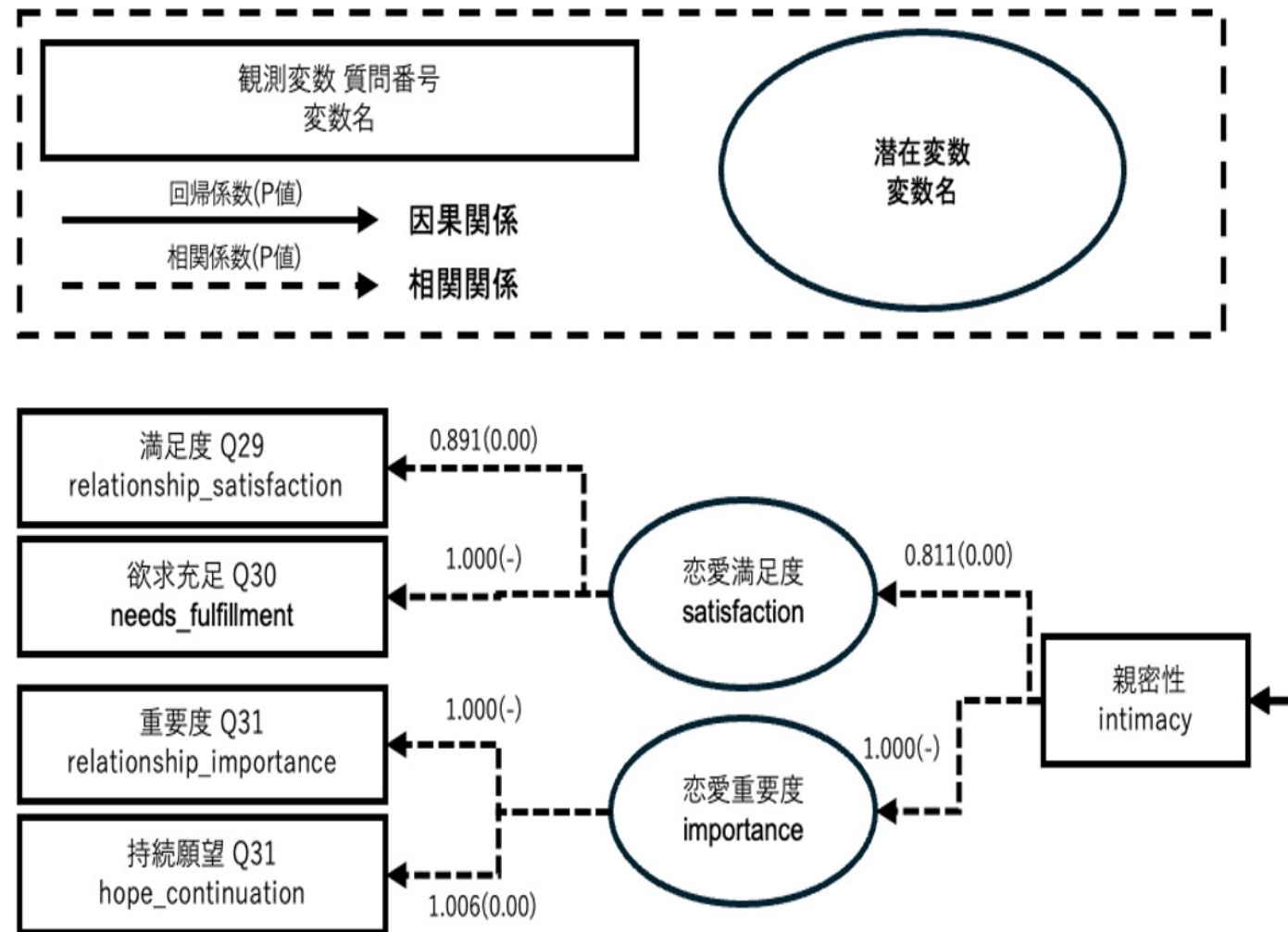
- 共分散構造分析
 - 適合度指標

指標	結果	分かること
X ² 適合度検定(P値)	0.02	p値<0.05であることから,変数間の独立性は有意水準5%で棄却され,変数間に一定の関係性が認められる.
標準化残差(RMSEA)	0.09	RMSEA>0.1からモデルの適合度は低水準ではあるが許容範囲にあるといえる.
比較適合度指数(CFI)	0.87	本モデルでは,CFI<0.9であることから,このモデルの適合度が低い



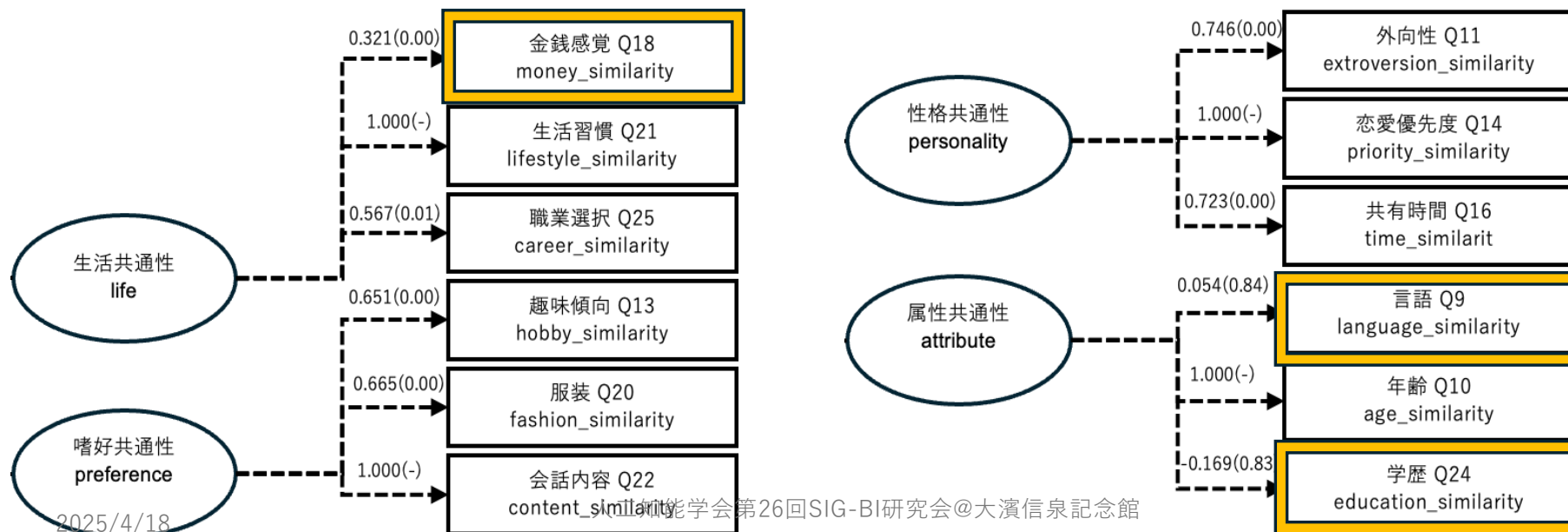
親密性との 相関関係

- 親密性から恋愛満足度, 恋愛重要度への無相関検定のp値がすべて0.05を下回っている.
→ 親密性が関係満足度, 関係重要度によって構成されるという
清水&大坊(2006)[3]の
先行研究と整合的である.



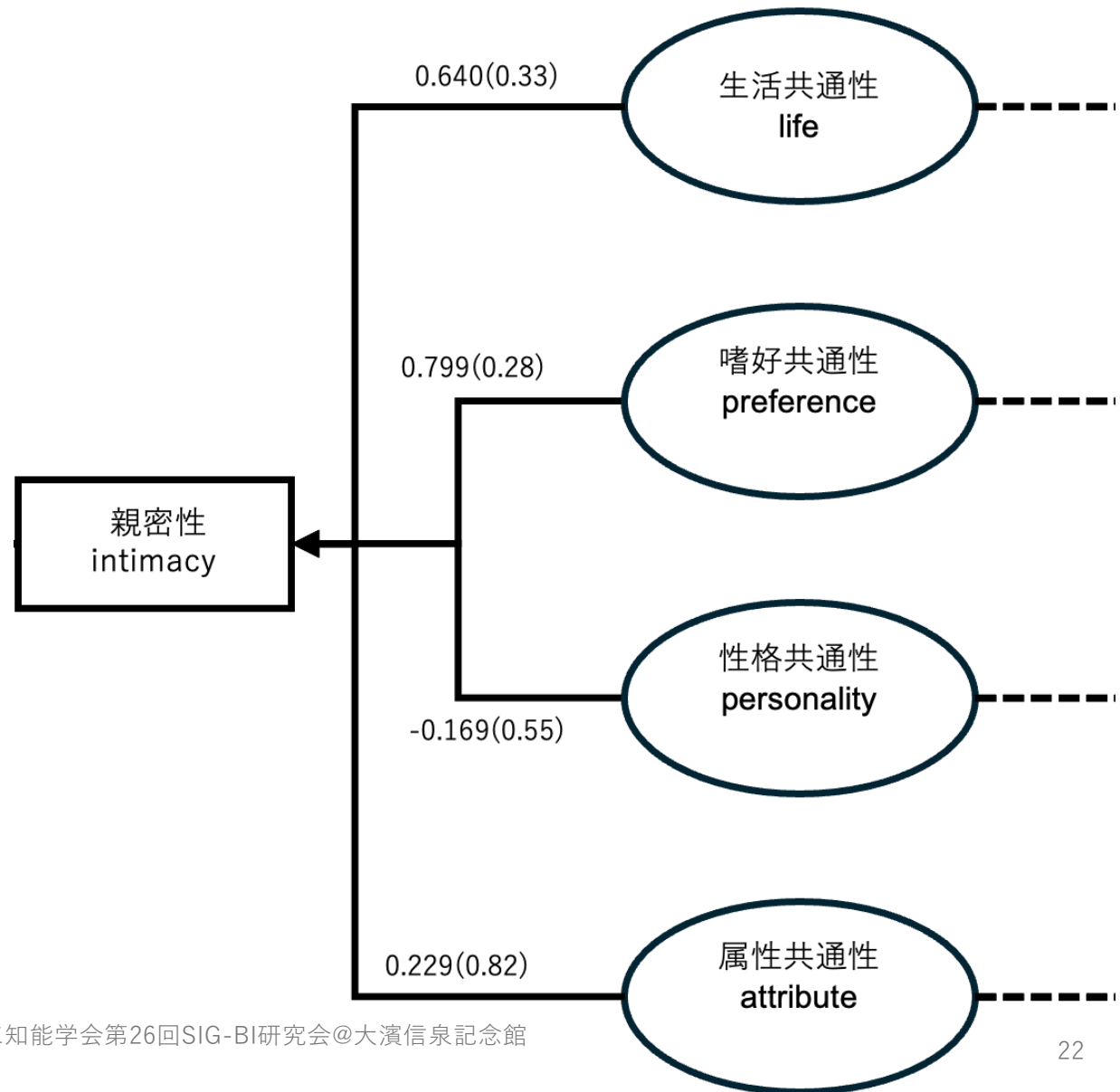
生活,嗜好, 性格,属性に 関する尺度

- 黄色枠以外は潜在因子を表現できている



因果関係について

- 4つの共通性因子と親密性の重回帰分析では、各回帰係数のp値はいずれも0.05以上であり、親密性と共通性の因果関係は認められなかった。



今後の展望

- 本研究では
 - データ数の不足(今回の有効回答数:44)
 - 尺度の設計において言語のサンプルの偏り
- 今後の研究
 - 尺度の設計を変更
 - 対象を変更→大学生と比較的年齢に近い社会人カップルや既婚者も対象に含めてデータ数とデータの多様性の拡充を目指す

ご清聴ありがとうございました

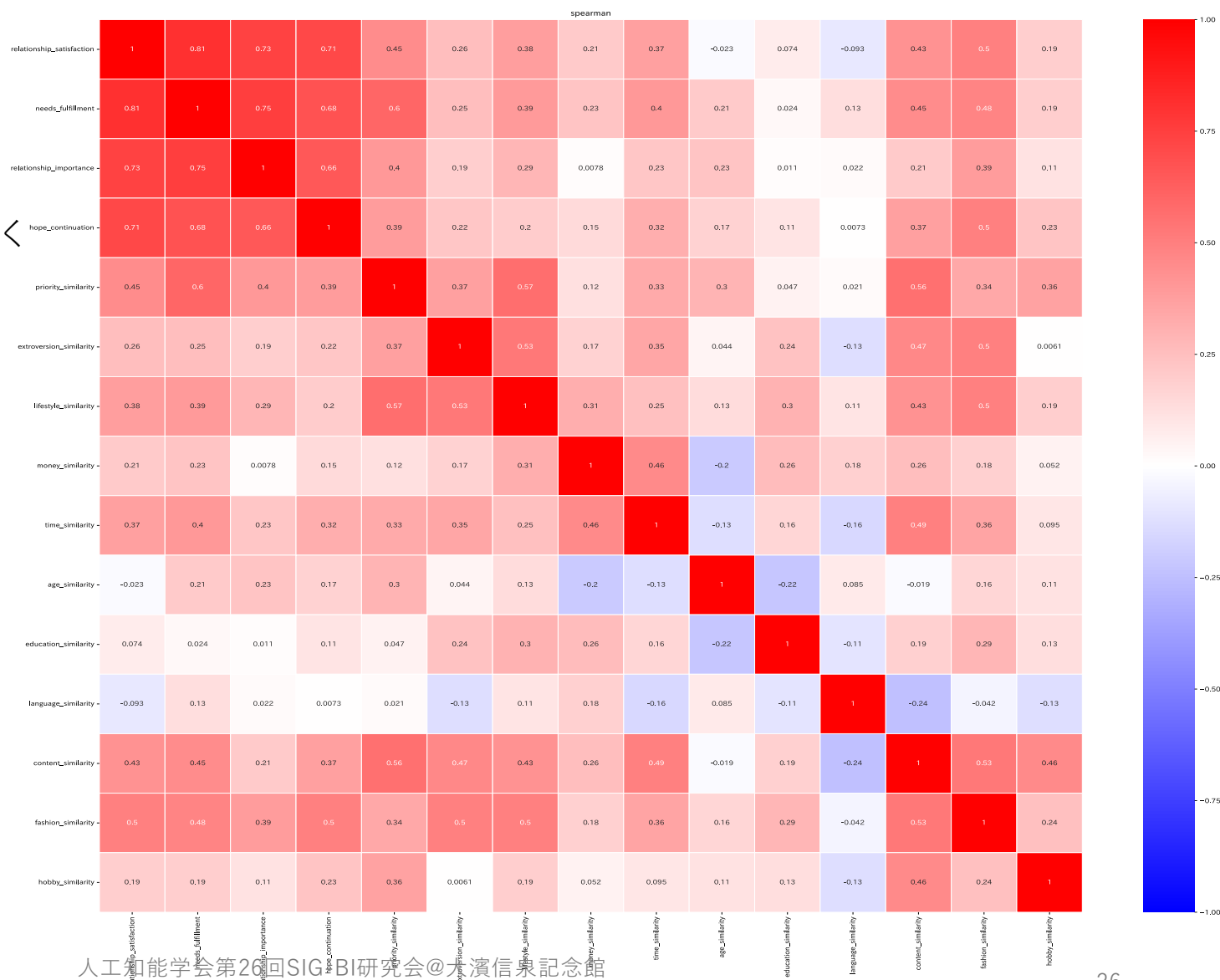
考察

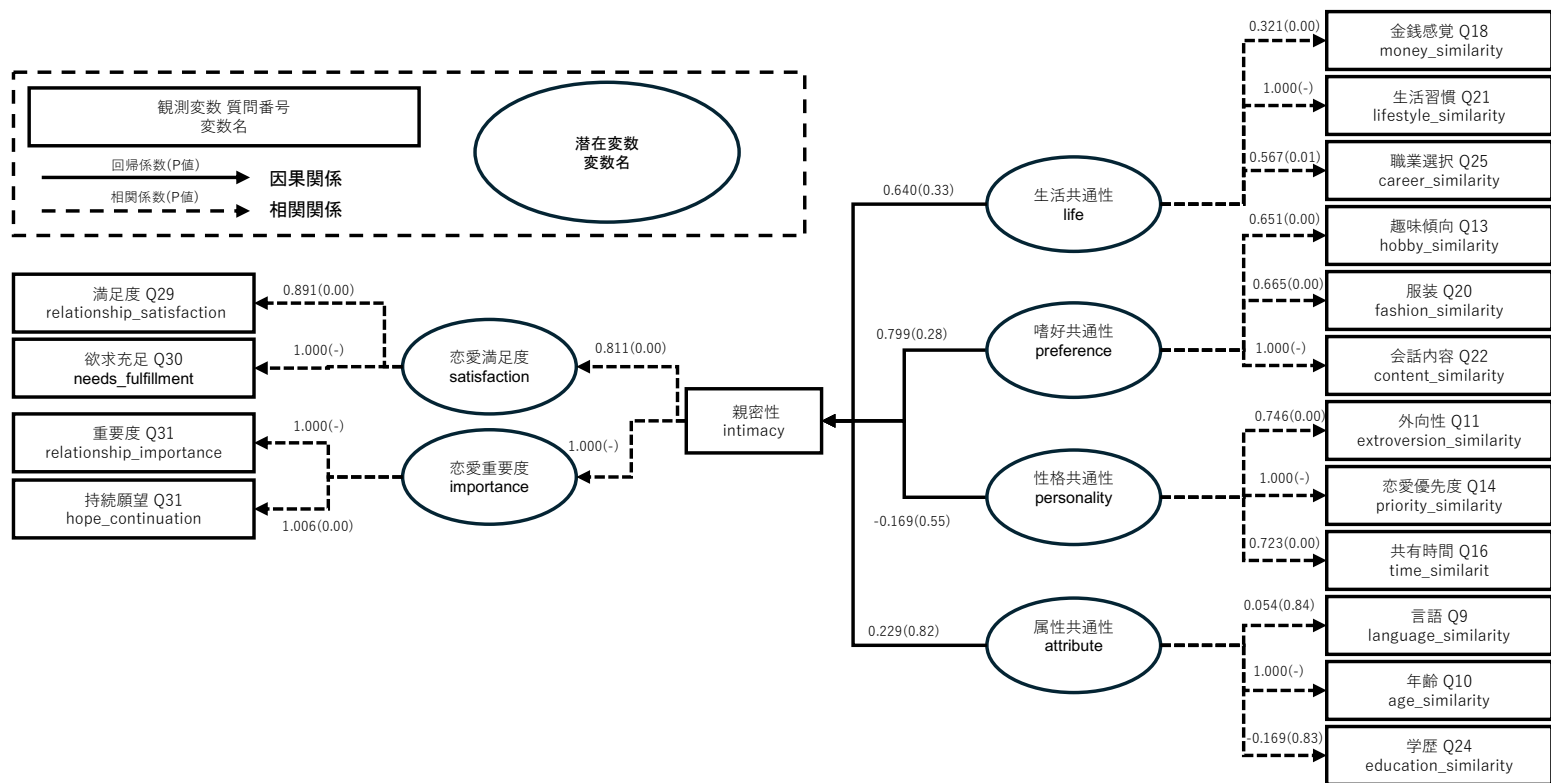
- **共分散構造分析**

- 「親密性」から「恋愛満足度」,「恋愛重要度」への無相関検定のp値がすべて0.05を下回っている.
→「親密性」が「関係重要度」,「関係満足度」によって構成されるという清水&大坊(2006)[3]の先行研究と整合的である.
- 生活共通性,嗜好共通性,性格共通性,属性共通性に関する因子分析では
「言語」「学歴」「金銭感覚」の3つの質問項目以外は観測項目がそれぞれの潜在因子を表現できていると言える.
- 4つの共通性因子と親密性の重回帰分析では,因果関係は認められなかった

- 恋愛親密性(相関あり)
- 恋愛優先度と服の好み(相関あり)
- 説明変数間:
 - 性格共通性(相関あり)
 - 恋愛優先度と外向性を除く
 - 嗜好共通性(相関あり)
 - 服装と趣味を除く

属性共通性と性格共通性
(相関なし)





因果と因子

